設備工事情報シート	その他	Ⅱ－S－5	制 定	2012年10月25日
			改 訂	2016年3月1日
Ⅱ．メーカー情報	防振材料	東京ブイテック編		

１．目的および概要　　設備機器の新しい防振材

振動・固体音対策として、設備機器には防振装置を標準装着する事例が増えてきている。このような状況の中で、従来のゴムやスプリングを使用して防振を行う方法ではなく、新しい防振材として特殊発泡ポリウレタンを使った材料(株)イノアックコーポレーション製「セルダンパー」を紹介する。

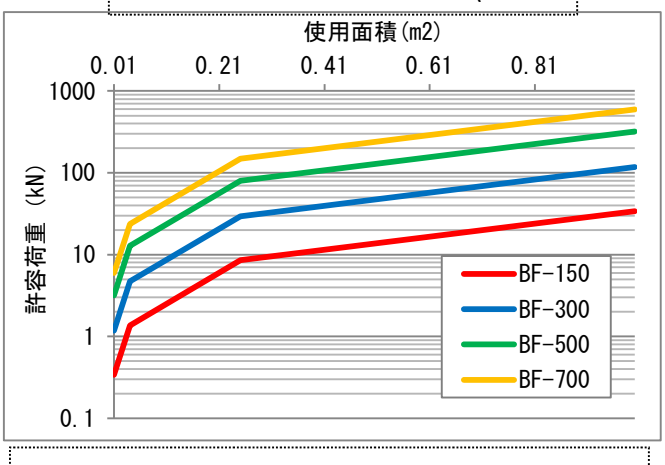
２．特徴

・防振性能：ゴムのような動ばね定数の上昇が無く、スプリングのようなサージング高域特性劣化も無い
・設計・施工：製品厚みを変更できることから設計自由度が高く、ゴムパッドのように機器の下に設置するのみ
・クリーン：ゴム臭がなく、ノンシリコーン、ノン硫黄、ノンハロゲンのクリーンな素材

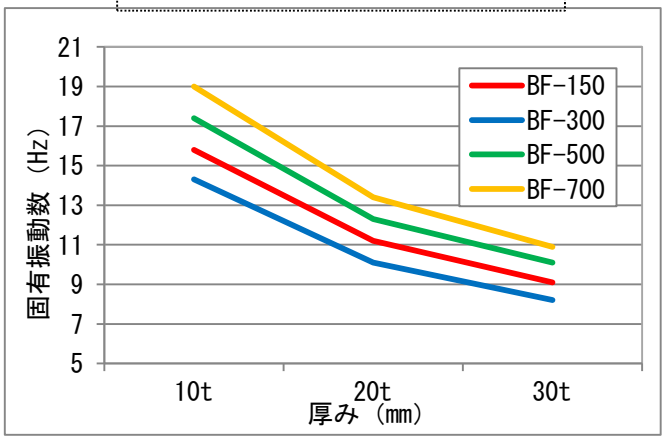
２．防振材の選定方法

手順１　：　上載荷重と使用面積から、セルダンパーの品番選定を行なう
手順２　：　狙いの固有振動数になるように、厚み形状の選定を行なう

図－１　使用面積と許容荷重(静的)



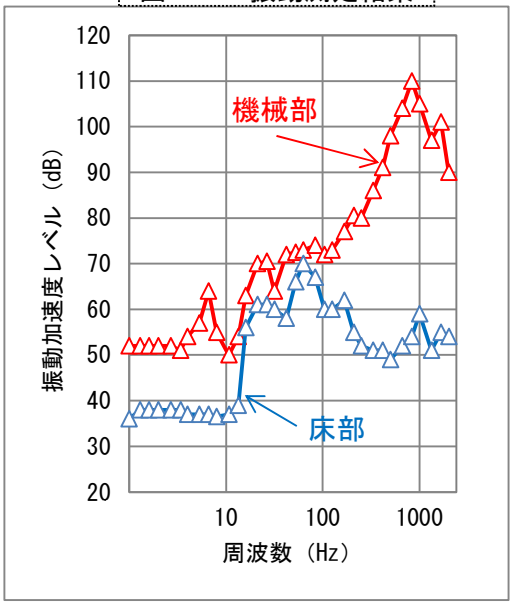
図－２　固有振動数と厚みの関係



２．施工事例および防振性能

MRI防振施工事例

図－３　振動測定結果



MRI稼働に発生する振動を絶縁する為に発泡ウレタン「セルダンパー」で対策を行なった。図-3に機械脚部振動データと床部の振動データを示す。

機械の脚部に防振材を敷くのみの、非常にシンプルな構成で、振動レベルの低減が確認された。

注：この情報シートは日建連の基準、規格ではありません

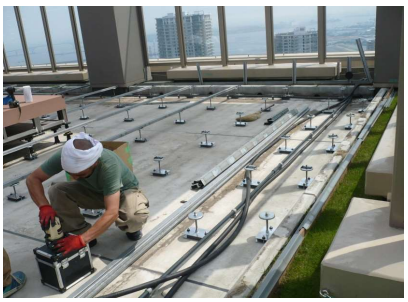
資　　料

３．防振施工事例（案）

発泡材を防振対策に使用する事例(案）を紹介する。下記の設備類は比較的大型であり標準品としての防振装置がなく、納入現場に合わせた防振対策が必要な設備類である。下記の防振施工例は、固体音領域で高性能な振動絶縁性能を持ち低価格で施工も容易である。

風力発電防振

ウッドデッキ防振



立体駐車設備機器防振

ポンプ配管サポート防振

ボイラー防振

仮設建設構台床防振

H鋼下にｾﾙﾀﾞﾝﾊﾟｰ施工

４．取り扱い上の注意

●火気注意

微少火源では着火しにくくしてありますが、不燃材ではありません。製品に火源が接触しないようにご注意下さい。

●耐薬品性

有機溶剤、石油類には侵されますのでご注意ください。

●耐気候性

耐湿熱性、耐候性を有していますが、直射日光が当たる場所でのご使用の際はご一報ください。

５．問い合わせ先

株式会社　東京ブイテック　菱沼　亨
住所：東京都中央区日本橋浜町2－14－7　　TEL：03－6657－5811　FAX　：03－6735－4379
Email: hishinuma@tokyovtec.com

注:この情報シートは日建連の基準､規格ではありません